

エコアクション21

環境活動レポート

66期版（期間：2012年7月～2013年6月）

《目次》

・環境方針	
・組織の概要、対象範囲	p. 1
・環境目標及びその実績	p. 2-9
・環境活動計画と取組結果とその評価	p. 10
・次年度の取組内容	p. 11
・環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	p. 12-14
・代表者による全体の評価と見直しの結果	p. 15
・環境管理組織	p. 16

この木について

樹木名：クリップアート
樹齢：3年3ヶ月
生育地：環境レポート表紙
特徴：環境活動と共に、成長する。



日本資材株式会社

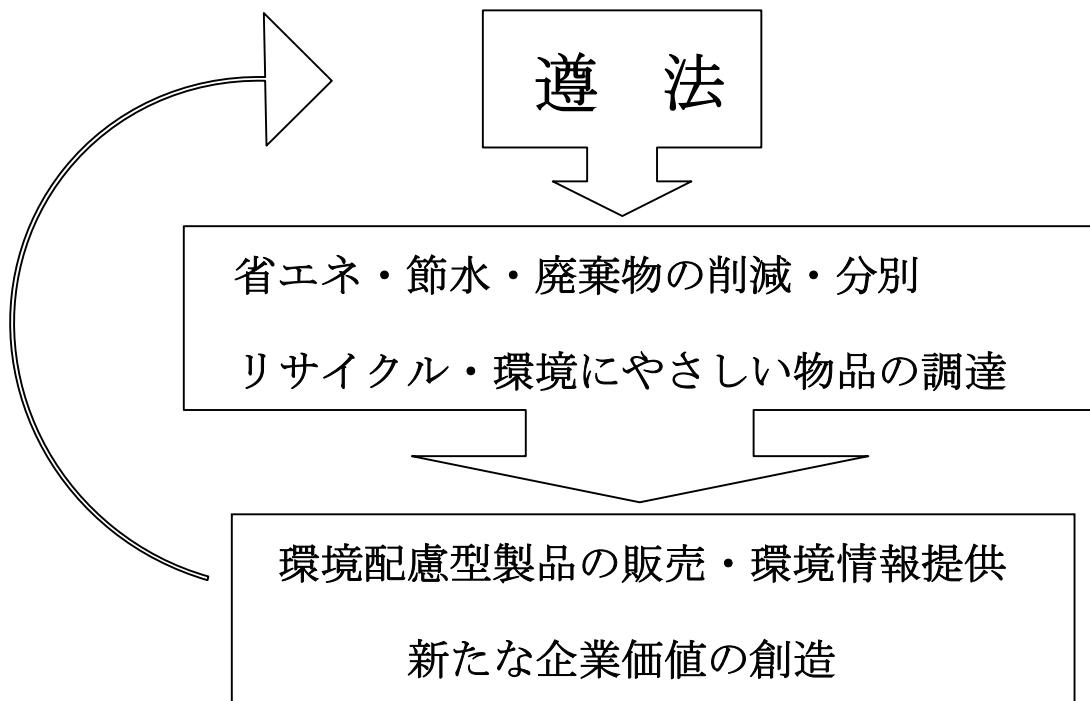
作成： 2013年11月14日

環 境 方 針

持続可能な社会を構築にむけて、事業者が担う責任として、環境負荷の継続的な削減へ取り組み、環境経営を推進します。事業所内での省エネ、節水、廃棄物の削減、分別リサイクル等だけでなく、仕入から販売まで（川上から川下まで）の原料・商品の流れの中で、取り組むべき課題を問い、目標を定めて、全組織・全事業活動での環境負荷の削減を目指します。

基本方針は明快にして、着実に目標を達成致します。

- 一． 先ず、環境に悪いことをしない。（環境に関する法規等の遵守）
- 二． 次に、環境に良いことをする。（省エネ・節水・廃棄物の削減・分別リサイクル・環境にやさしい物品の調達）
- 三． 更に、環境配慮型製品の販売・環境情報提供を推進して、新たな企業価値の創造を目指します。



改定日：2010年9月29日

日本資材株式会社

取締役社長 **高野繁正**

□ 組織の概要

1) 名称及び代表者名

日本資材株式会社

代表取締役社長 高野 繁正

2) 所在地

本社 大阪府大阪市中央区博労町1丁目5番6号

東京店 東京都中央区日本橋箱崎町31-4

京都店 京都府南区上鳥羽岩ノ本町10

名古屋店 愛知県名古屋市西区幅下2-18-12

福井店 福井県福井市問屋町3-209

福山店 広島県福山市道三町3-7

見附店 新潟県見附市新町3-11-11

R&Dセンター 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-2

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 寺尾 周二

TEL : 06-6264-0222

担当者 管理本部課長 本山 幸一

TEL : 06-6264-0222

4) 事業内容

化学品・工業樹脂、紙・合成紙・フィルム、染色関連設備・産業機器、各種消耗品等産業資材全般を取扱、グローバルに対応しています。

また、関連会社の(株)ダイニチで開発製造された、電子材料、ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売を行っています。

5) 事業規模

売上高 本社 5,084百万円 (全社 11,302百万円) [2013年度実績]

		本社	R&Dセンター
従業員		28	8
延べ床面積 (㎡)		1,581	2100

(R&Dセンターは2008年度に認証取得済)

東京店	京都店	名古屋店	福井店	福山店	見附店	合 計
12	3	3	9	1	1	65名
196	237	99	794	73	231	5,311㎡

6) 事業年度 7月～6月

□ 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録番号 0006521

認証・登録日 2011年1月26日 有効期限 2015年1月25日

登録組織名: 日本資材株式会社 本社

東京店、京都店、名古屋店、福井店、福山出張所、見附出張所

活動: 産業資材全般、電子材料、ラミネート加工品及び機能性フィルムの販売

2013年度（2012年7月～2013年6月）

□環境目標及びその実績

全社取組

項 目		2009年度 (基準年度)	2010年度 (実績)	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (目標)	2013年度 (実績)	評価 X△○
電力量使用あたりの CO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	43,097	40,613	40,710	37,865	全社数量 把握	65,798	○
			△5.8%	△5.5%	△12%			
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	27,422	28,878	24,884	22,188	全社数量 把握	68,891	○
			5.3%増	△9%	△19%			
CO2排出量 合計	(Kg/年)	70,519	69,491	65,594	60,052	全社数量 把握	134,689	○
			△1.5%	△6.9%	△14%			
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)		1,299	1,417	1,425	全社数量 把握	2,260	○
産業廃棄物 (マニフェスト)	(Kg/年)		0	0	0	全社数量 把握	0	○
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)		1,299	1,417	1,425	全社数量 把握	2,260	○
生活用水使用量 の削減	(m3/年)	447	305	288	354	全社数量 把握	635	○
			△31%	△48%	△21%			
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)		951,238	***	345トン	数値化	378トン	○
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入達成率)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	○
							(本社分)	
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)		1,219	1,033	1,094	全社数量 把握	1,511	○
				△15%	△10%			

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh
 ※2009年化学品販売量は、PRTR対象物質含有の繊維加工剤グループ製品の数量。
 ※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化
 ※2013年から全社実績

2013年度（2012年7月～2013年6月）

□中期環境目標

項 目		2013年度 (基準年度)	2014年度 (目標)	2015年度 (目標)	2016年度 (目標)
電力量使用あたりの CO2排出量 (都市ガス含み)	kg-CO2	65,798	65,140	64,482	63,824
			△1%	△2%	△3%
自動車燃料使用量 あたりのCO2排出量	kg-CO2	68,891	68,202	67,513	66,824
			△1%	△2%	△3%
CO2排出量 合計	(Kg/年)	134,689	133,342	131,995	130,648
			△1%	△2%	△3%
一般廃棄物 (中間リサイクル含 み)	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
産業廃棄物 (マニフェスト)	(Kg/年)	0	0	0	0
廃棄物排出量 合計	(Kg/年)	2,260	2,237	2,215	2,192
			△1%	△2%	△3%
生活用水使用量 の削減	(m3/年)	635	629	622	616
			△1%	△2%	△3%
化学品の販売量 (輸入量)	(トン/年)	378トン	輸入量把握	輸入量把握	輸入量把握
社内グリーン購入の (オフィス用品含み) 向上	(購入達成率)	100%	100%	100%	100%
		(本社分)			
コピー用紙購入量の 削減	(Kg/年)	1,511	1,496	1,481	1,466
			△1%	△2%	△3%

※電気使用あたりのCO2排出量は、基準年度のCO2排出係数0.366kg-CO2/kWh
 ※2009年化学品販売量は、PRTR対象物質含有の繊維加工剤グループ製品の数量。
 ※2012年から改正化審法(輸入量)で数値化
 ※2013年から全社実績

電気使用量

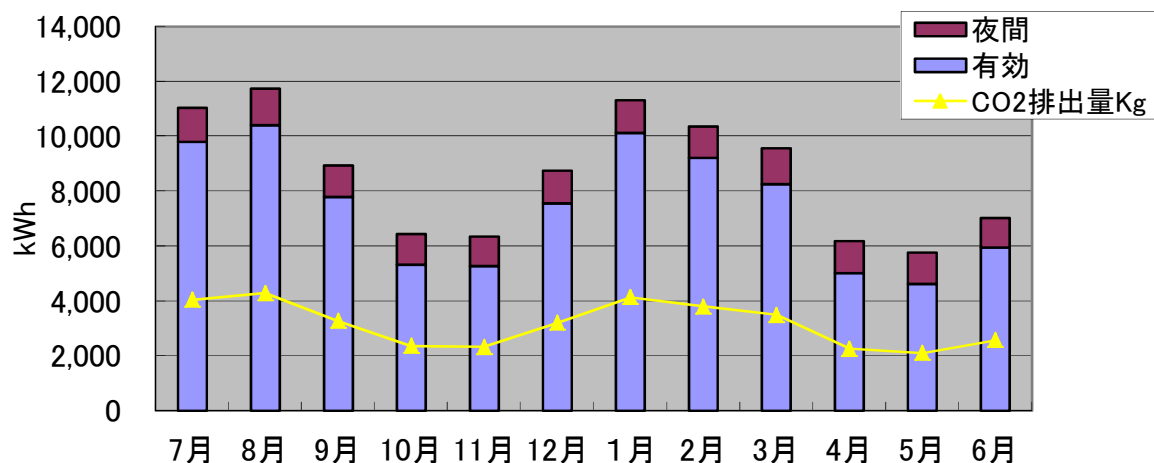
(CO2排出係数: 0.366kg-CO2/kWh)

2011年7月～2012年6月

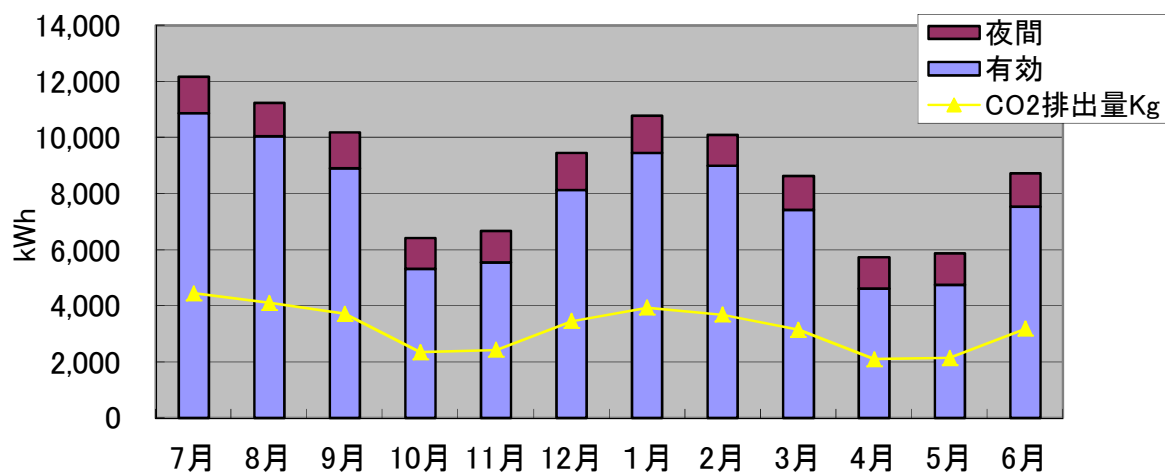
2012年7月～2013年6月

	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)	全日kWh	有効kWh	夜間kWh	CO2(Kg)
7月	11,048	9,801	1,247	4,044	12,174	10,878	1,296	4,456
8月	11,727	10,398	1,329	4,292	11,236	10,051	1,185	4,112
9月	8,945	7,790	1,155	3,274	10,191	8,911	1,280	3,730
10月	6,440	5,319	1,121	2,357	6,424	5,326	1,098	2,351
11月	6,350	5,268	1,082	2,324	6,667	5,567	1,100	2,440
12月	8,748	7,551	1,197	3,202	9,451	8,147	1,304	3,459
1月	11,314	10,134	1,180	4,141	10,773	9,457	1,316	3,943
2月	10,366	9,226	1,140	3,794	10,090	8,995	1,095	3,693
3月	9,557	8,252	1,305	3,498	8,631	7,434	1,197	3,159
4月	6,174	5,018	1,156	2,260	5,747	4,616	1,131	2,103
5月	5,756	4,630	1,126	2,107	5,873	4,765	1,108	2,150
6月	7,030	5,940	1,090	2,573	8,721	7,544	1,177	3,192
合計	103,455	89,327	14,128	37,865	105,978	91,691	14,287	38,788

電気使用量(2011年7月～2012年6月)



電気使用量(2012年7月～2013年6月)



水道使用量 本社

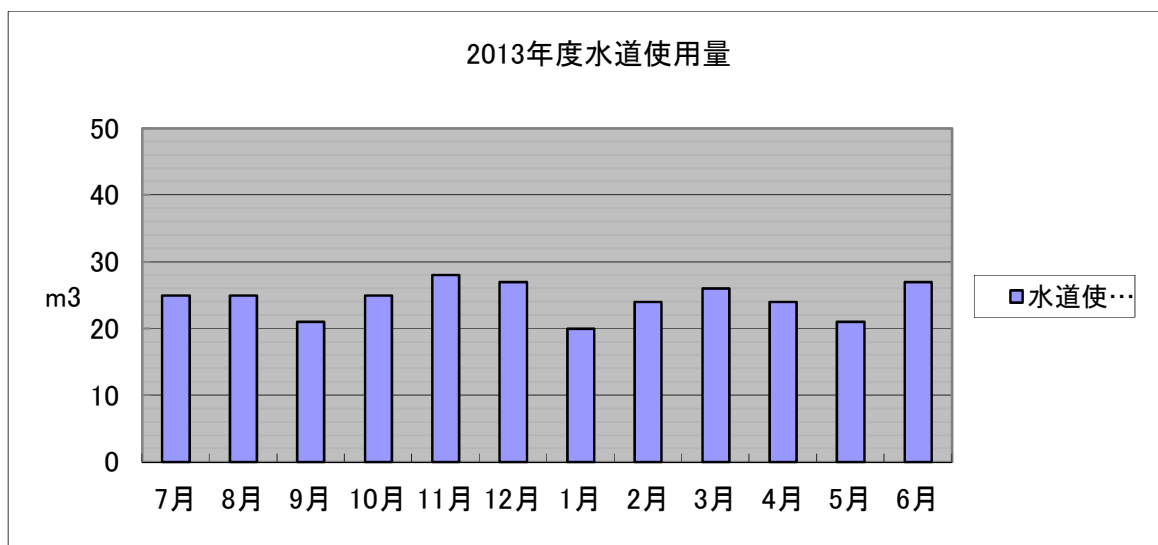
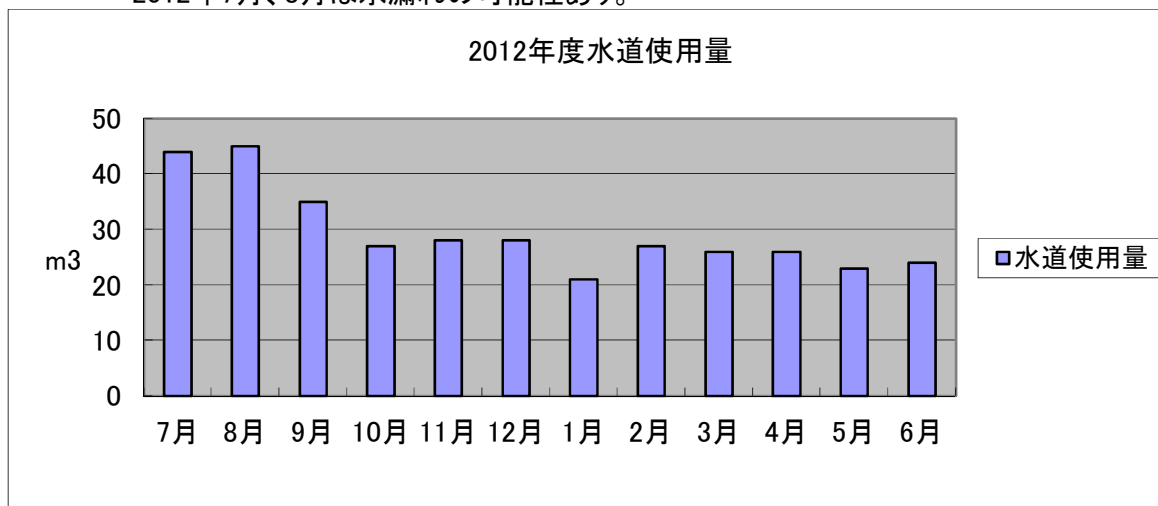
2011年7月～2012年6月

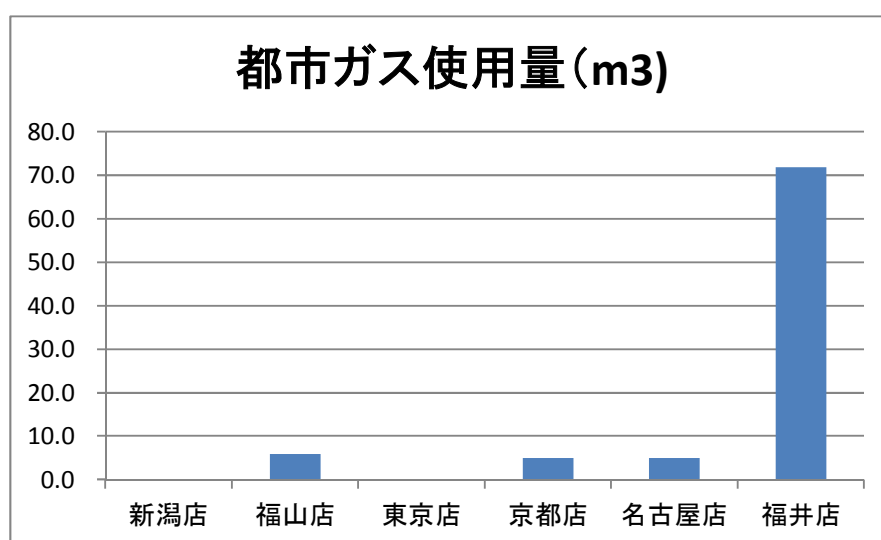
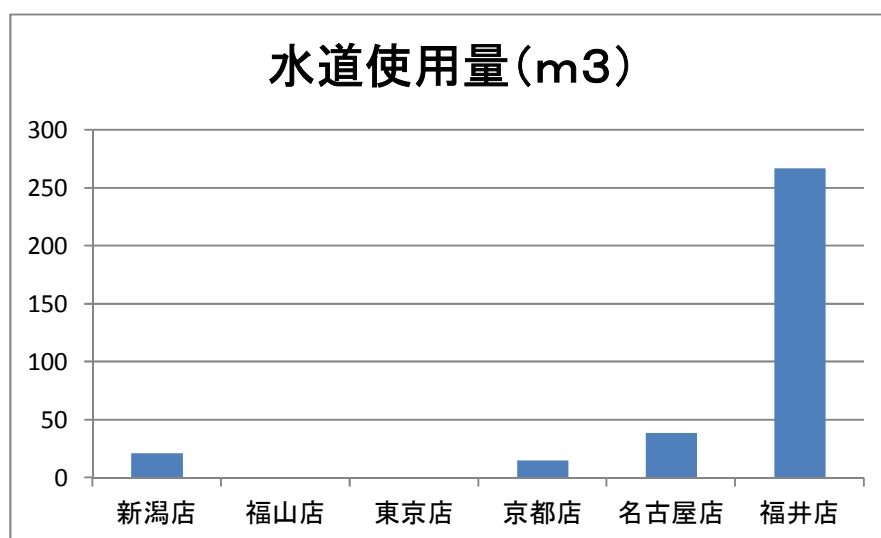
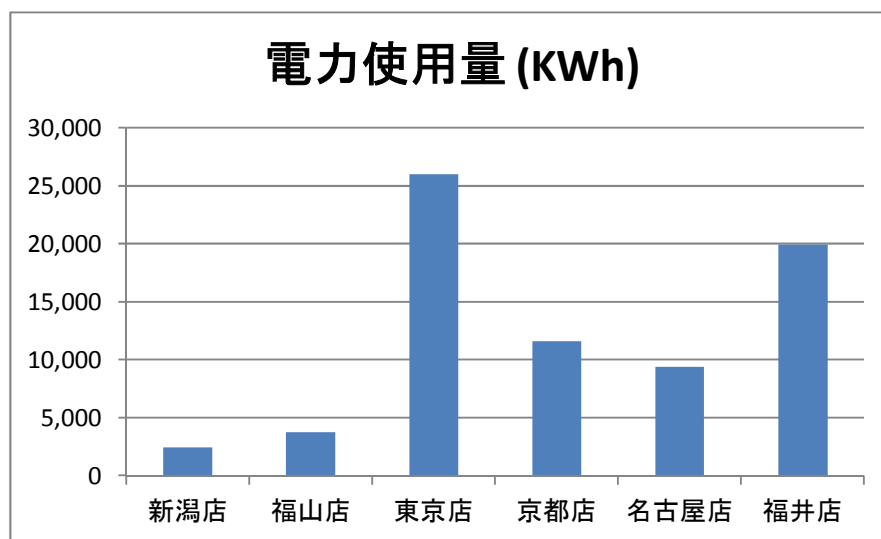
	m ³
7月	44
8月	45
9月	35
10月	27
11月	28
12月	28
1月	21
2月	27
3月	26
4月	26
5月	23
6月	24
合計	354

2012年7月～2013年6月

	m ³
7月	25
8月	25
9月	21
10月	25
11月	28
12月	27
1月	20
2月	24
3月	26
4月	24
5月	21
6月	27
合計	293

2012年7月、8月は水漏れの可能性あり。



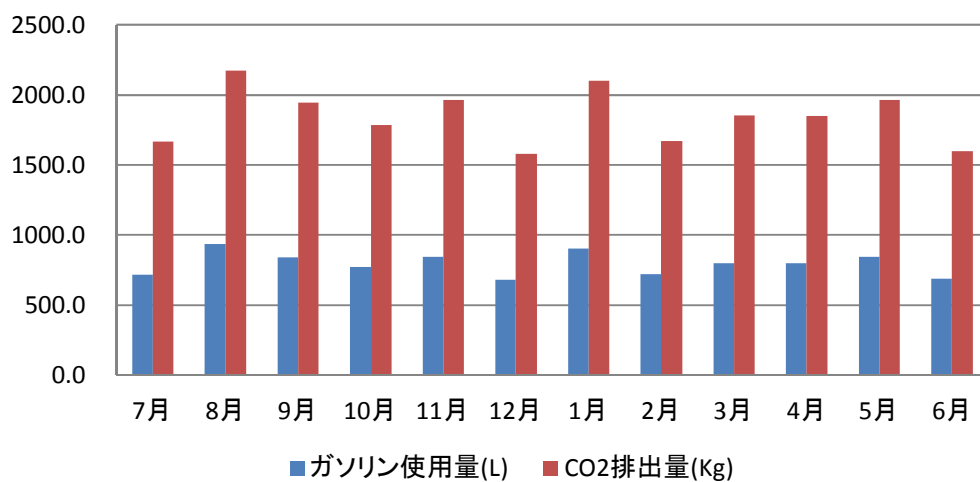


ガソリン使用量（大阪本社）

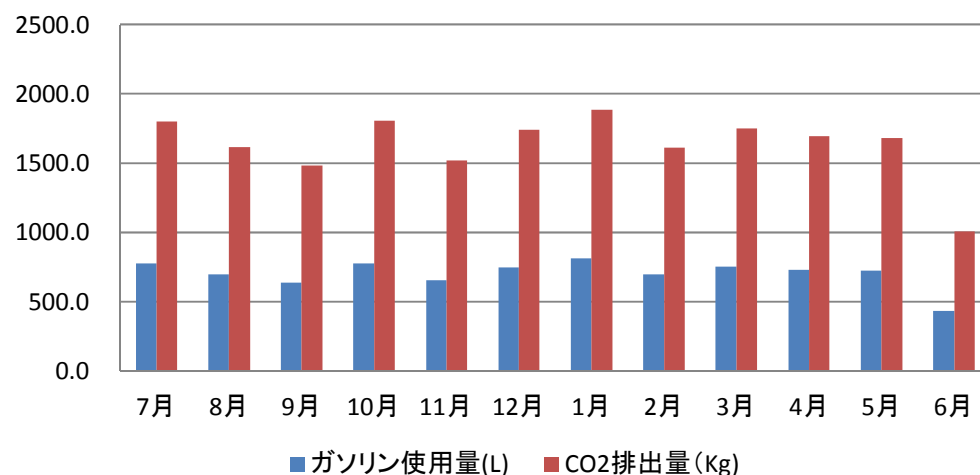
排出係数 2.32166

	2012年		2013年	
	合 計	排出量Kg	合 計	排出量Kg
7月	718.8	1668.716	775.9	1801.33
8月	937.4	2176.394	697.4	1619.102
9月	839.3	1948.616	638.4	1482.032
10月	770.6	1789.094	778.4	1807.064
11月	846.1	1964.264	655.0	1520.641
12月	682.3	1584.022	750.2	1741.709
1月	906.9	2105.606	812.6	1886.488
2月	721.1	1674.033	695.9	1615.713
3月	800.3	1858.071	754.2	1751.019
4月	798.0	1852.638	730.7	1696.507
5月	846.8	1966.005	724.4	1681.741
6月	689.5	1600.854	433.6	1006.672
合計	9557.1	22188.3	8184.7	19002.0

2012年度



2013年度



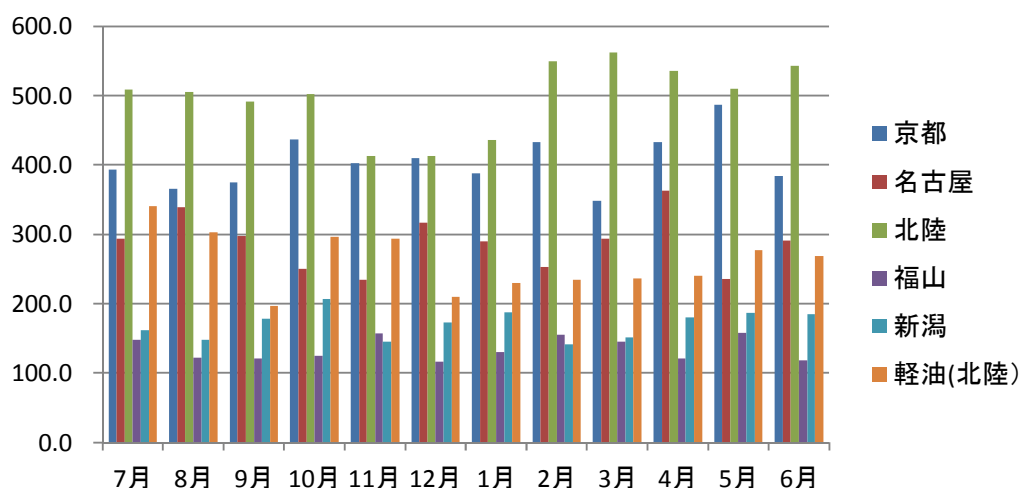
ガソリン使用量（各店）

ガソリン 排出係数 2.322
軽油 排出係数 2.619

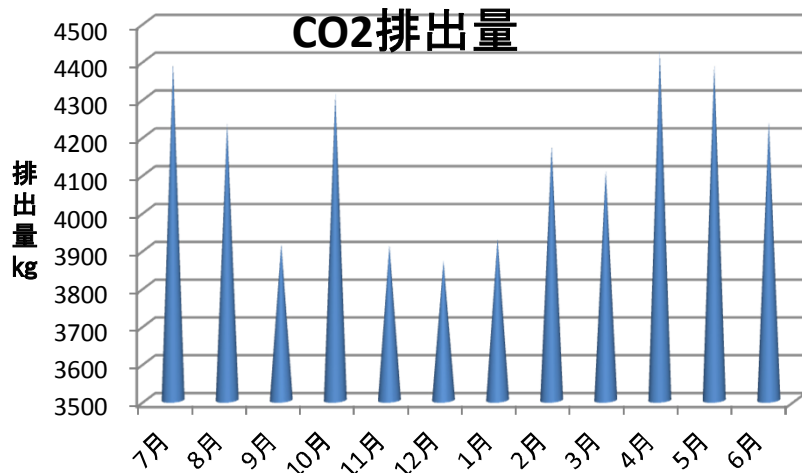
	京都	名古屋	北陸	福山	新潟	軽油(北陸)	排出量Kg
7月	393.9	293.5	509.2	148.0	162.0	341.0	4391
8月	365.6	339.5	505.2	122.0	148.4	303.0	4232
9月	375.3	297.8	491.0	120.9	178.1	197.0	3913
10月	437.2	250.6	502.0	124.5	206.6	297.0	4310
11月	402.7	234.9	412.8	156.8	144.9	294.0	3910
12月	409.7	317.1	413.0	117.0	172.5	210.0	3869
1月	387.5	290.2	436.0	130.7	187.8	230.0	3928
2月	433.3	253.0	549.0	155.4	141.7	235.0	4174
3月	348.2	293.4	562.8	145.6	151.7	237.0	4108
4月	433.1	363.4	535.4	121.5	180.0	240.0	4421
5月	486.7	235.8	509.5	158.4	186.5	277.0	4387
6月	384.2	291.0	542.8	118.5	184.5	269.0	4236

合計	4857.3	3460.1	5968.8	1619.5	2044.8	3130.0	49878
----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------

各店ガソリン・軽油使用量



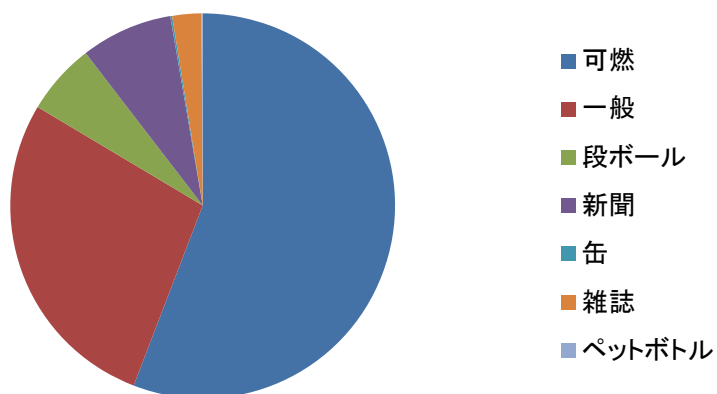
CO2排出量



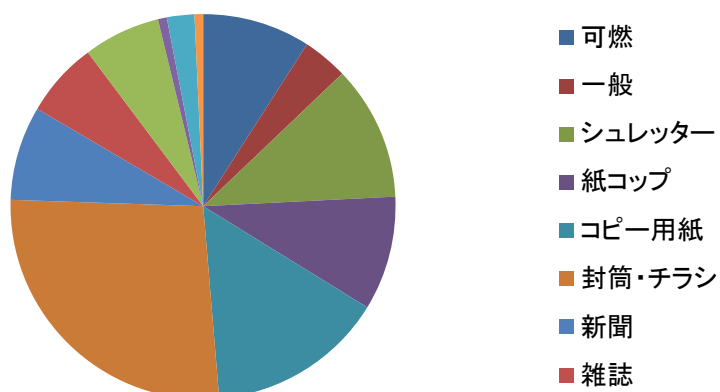
24年7月～25年6月

	新潟	福山	京都	名古屋	北陸	支店計		本社
可燃		28.44	174.71	107.80	319.00	629.95	可燃	102.80
一般	33.00		92.82	7.30	180.10	313.22	一般	43.00
段ボール			66.75	0.90		67.65	シュレッター	128.30
新聞			50.08	36.90		86.98	紙コップ	108.60
缶			1.72			1.72	コピー用紙	168.50
雑誌			27.30			27.30	封筒・チラシ	304.50
ペットボトル			1.21			1.21	新聞	90.00
							雑誌	71.50
各店計	33.00	28.44	414.59	152.90	499.10	1,128.03	段ボール	72.50

各店事業系ごみ（一般廃棄物）



本社事業系ごみ（一般廃棄物）



缶	9.00
ビン	26.00
ペットボトル	8.20
	1,132.90

2013年度（2012年7月～2013年7月）

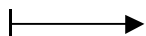


環境管理計画

承認 年月日	作成 年月日
25.10.24	25.10.24

環境方針	環境目的及び実施項目	スケジュール		取組結果とその評価	評価 ○△×	問題の是正及び予防
		2012 年度	2013 年度			
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連 (1)コンプライアンス(法令遵守)の強化 ①管理本部へ法令対応の一元化と各営業拠点へのフィードバック ②改正化審法、化学物質輸入数量の届出			①環境法他関係届出書等を管理本部で一括管理、ファイル化を継続している。取引契約書等の営業分野も含めてコンプライアンスのリスク管理を継続する。 ②改正化審法はペーパー方式で届出、電子データへ整備していく。	○	全社的なコンプライアンスについて、リスク管理はできているとは言えない。当面は、ファイル化を継続するが、リスク管理の取組手順も検討したい。
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄物量の削減》	(1)一般廃棄物から資源ゴミ分別の徹底 ①数値化 ②コピー用紙裏紙使用の促進			①12年7月より全事業所(東京店除き)でのゴミの分別開始、当社のような商社系事業所では数値目標による削減から節制(省エネ)項目に重点を移すことにした。 ②名古屋店は東京店からの裏紙を主に使用。	△	裏紙の使用は徐々に浸透はしているが、数値からも紙類ではコピー用紙が当社の一番の重量になる。社内文書の電子回覧等具体的な項目を検討する。
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調の適温化、フィルター清掃 ※営業拠点により、ガス水道使用量含む		12%減	使用電力量(本社)は前期より2.4%増加。7月の最大需要電力も前回61kWから68kWの値となる。空調の消費電力が原因と予想するが、デマンドをコントロールできなかった。各店のエネルギー使用量は数値化。	△	冬季に向け、最大需要電力の低減対策として、省エネ担当者が巡回をする。
	(3)自動車燃料使用量あたりのCO2排出量の削減 ①社有車運行日誌(兼燃費算出シート) ②Timesカーシェアリングの導入		10%減	本社営業車を5台から4台にし、カーシェアリングをに加入。本社のガソリン使用量は前期比14%減。全社的な営業車の管理ができた。	○	営業車のリース更新時に、ハイブリット車へ切換えをする。
	(4)化学物質販売量の計量化 (PRTR法対象物質)			繊維加工剤グループ分の数値化はメーカーが1社の為、仕入先コードからできた。化学物質安全管理は情報収集等で対応。	△	化学物質リスク管理は、本社管理本部が一括管理する方向で管理体制を作る。
	(5)総商品販売量の数値化			引き続き検討中。	×	売上データの利用の検討。
	(6)社内グリーン購入の品目の検討と推進			蛍光灯40W→37W昼光色へほぼ変更。LEDランプも検討したが、当社の趣向に合わず。事務用品等の購入先のグリーン商品購入実績集計表でグリーン商品購買率利用。	△	グリーン商品購買率8.5%と低いが、茶葉等の購入も含まれる為で、事務用品は大方グリーン商品とのこと。
3. 環境配慮型製品の販売・環境情報提供	①環境配慮型製品の販売実績の見える化 ②社外提供のMSDS等の管理			食物残渣リサイクル設備、食料廃棄物の飼料化設備の販売実績ができたので、環境関連の事業として、宣伝している。毒物・劇物及び危険物の適正な取扱いに関する講習会等へ積極的に参加。	○	従来の化成品などで環境配慮型製品のアピールができていない。営業部と調整する。

2014年度（2013年7月～2014年6月）



環境管理計画

承認	作成

作成	2013年9月1日
改訂	2013年11月28日

環境方針	環境目的及び実施項目	対象組織	実施担当者	継続・新規区分
1. 環境に悪いことをしない 《法規制の遵守》	環境関連法規 (1)コンプライアンス(法令遵守)のリスク管理 ①風通りの良い職場環境と円滑なコミュニケーション	全社	管理本部 本山	継続実施
2. 環境に良いことをする 省資源活動 《事業系一般廃棄物量の削減》	(1)事業系一般廃棄物から資源ゴミ分別 ①コピー用紙購入量とカウンター量の管理。 ②事務所・倉庫の整理・整頓。	全社 本社	管理本部 斉藤	継続実施
	(2)電力量使用あたりのCO2排出量の削減 ①空調フィルターの定期的な清掃。 ②室外機の運転環境整備。 ③夏季日射対策の実施。	本社 本社 本社	管理本部 本山	継続実施
	(3)自動車燃料使用量あたりのCO2排出量の削減 ①営業車1台更新時にハイブリット社へ切替。 ②エコドライブ運動の継続	東京店除く	辻森	継続実施
	(4)総商品販売量の数値化 ①販売上位品目の管理から。 ②化学品のリスク管理(自社取扱商品の分析)。	全社 本社	斉藤 本山	継続実施 新規実施
	(5)物流の効率化	本社	本山	新規実施
	(6)IT指標化	本社	本山	新規実施
	(7)社内グリーン購入品目の検討と推進	本社	打谷	継続実施
3. 環境配慮型製品の販売・ 環境情報提供	①環境関連製品の販売数値化。 ②社外提供のMSDS等の管理。	全社	本山	新規実施 継続実施

1. 定期的法規制遵守評価表

当社では、下記の事項に付いて、1回／年 法規制遵守評価を実施する。

承認	評価者
	

法規制	チェック項目	評価の結果	苦情、訴訟の有無
1、環境基本法	①基本理念	○	無
2、地球温暖化対策法	①温室効果ガスの排出抑制等	○	無
3、廃棄物処理法 及び大阪市条例	①事業系廃棄物は適正に区分し、処理されているか。	○	無
	②事業系廃棄物は資格を持った業者に処理・処分の委託をしているか。	○	
	③事業系廃棄物の保管は適切にされているか。	○	
	④事業系廃棄物は適切な掲示がなされているか。	○	
4、家電リサイクル法	①家電廃棄物の引渡しは適切にされているか。	○	無
5、化管法 (MSDS制度)	①対象化学品の販売時に、MSDSの提供がされているか。	○	無
	②書類の保管がなされているか。	△	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
6、消防法	①安全確保の管理は適切にされているか。	○	無
	②消防用設備等の点検・報告が適切にされているか。	○	
	③行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
7、毒物劇物取締法	①劇物表示があるか。	○	無
	②鍵の掛かる保管庫に保管されているか。	○	
	③入出庫の管理と書類の保管ができていますか。	○	
	④行政の指導があった場合、それに対応しているか。	○	
8、改正化審法 (2011.4.1)	①1化学物質につき、1企業当たり1.0トン以上の製造(輸入)数量等について、経産省へ届出義務(届出書類準備中)	○	無

(不適合が発見された場合)

不具合が発見された場合環境管理責任者へ連絡指示を受ける。

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間、法規制違反及び訴訟はありません。

各営業拠点に適用される市条例

東京店： 東京都環境局の所管する主要な条例等

法規制	チェック項目
1. 東京都環境基本条例	・環境の保全に関する基本的施策
2. 環境確保条例	・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 （平成12年 東京都公害防止条例を全面的に改正）
3. 自然保護条例	・東京における自然の保護と回復に関する条例
4. 東京都廃棄物条例	・廃棄物の発生を抑制、再利用の促進、適正な処理
5. 環境アセスメント条例	・東京都環境影響評価条例

京都店： 京都市環境政策局

法規制	チェック項目
1. 京都市環境基本条例	・環境保全について、基本理念
2. 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	・廃棄物の発生を抑制及び再生利用の促進による減量、適正処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例	・自社産業廃棄物の保管用地の届出、保管場所の明示 ・自社産業廃棄物の運搬指示票の作成、交付、携行 ・産業廃棄物処理施設の維持管理記録の閲覧、施設の公開 ・環境の保全上容易に回復し難いと判断された時の産業廃棄物の搬入一時停止命令、即時搬入停止措置
5. 京都市環境影響評価等に関する条例	・東京都環境影響評価条例

名古屋店：名古屋市

法規制	チェック項目
1. 名古屋市環境基本条例	・環境保全について、市、事業者及び市民の責務を明らかにするとともに、施策の基本となる事項
2. 市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例	・略称「環境保全条例」、公害防止条例を全面的に見直し
3. 名古屋市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	・廃棄物の減量、適正処理
4. 名古屋市空き缶等散乱の防止に関する条例	・空き缶等の投棄の禁止
5. 名古屋市産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例	・処理の委託における確認など

福井店： 福井市（福井県）

法規制	チェック項目
1. 福井市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	・自らの責任において適正に処理すること ・再生利用等を行うことによりその削減 ・国及び地方公共団体の施策に協力
3. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

福山店： 福山市

法規制	チェック項目
1. 福山市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 福井市空き缶等の散乱防止及び環境美化に関する条例	・空き缶等の散乱防止
3. 廃棄物処理法(広島県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

新潟店： 見附市

法規制	チェック項目
1. 見附市環境基本条例	・環境の保全について、基本理念
2. 見附市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例	・廃棄物(産業廃棄物以外)の減量、再生利用及び適切な処理並びに生活環境の清潔の保持
3. 見附市ふるさと美化条例	・ごみのポイ捨て禁止
4. 産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例(新潟県)	・マニフェスト(産業廃棄物管理票)制度

代表者による全体の評価と見直し

事業体制の効率化と見直しを継続的に行い、商社事業において利益の出る営業体制を充実させ、更に経費削減にも努めました。国内生産の縮小が引き続き継続することを前提に利益の出る経営計画を立て、社員一丸をなって取り組んでおります。

特に「ニッチな領域で特徴を出す」という考えに基づき、マーケットが小さく大手企業では採算性にあわないとされる事業を取り込み、弊社として事業をする計画が進展しています。

具体的には環境事業分野の設備へも必要に応じての投資も挙げています。その展開の中で環境経営システムの構築、運用、維持と仕組みの継続的な改善して、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水、化学物質使用量の削減、グリーン購入に取り組めます。

平成26年は弊社の設立65周年を迎えます。「新生日本資材の構築」をスローガンに、事業の展開をするとともに、持続可能な社会の構築にむけた取組に参画する所存であります。

環境関連設備

りんご粕処理機（試験機）

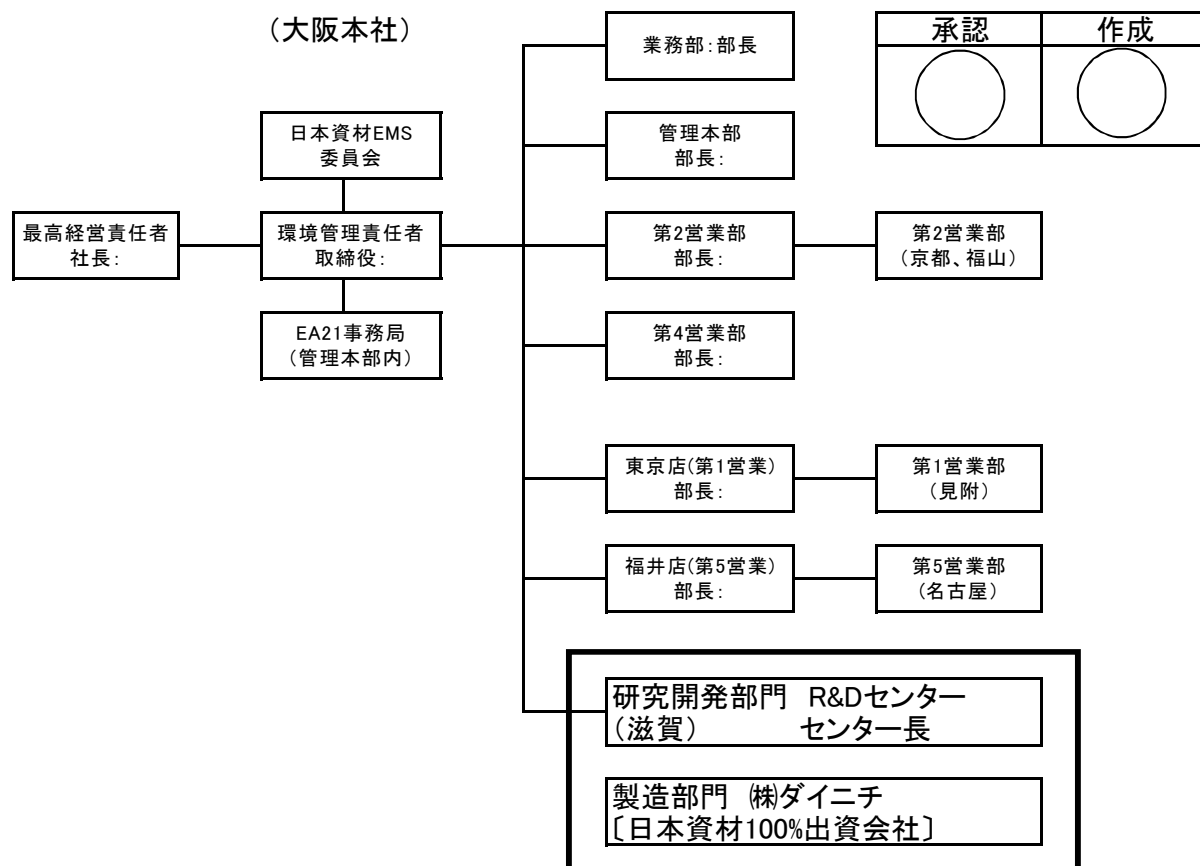


ほたてうろ処理システム



日本資材株式会社 実施体制図及び役割・責任・権限表

改正日：2013年10月1日



注：研究部門であるR&Dセンターは、(株)ダイニチの敷地内にあり、(株)ダイニチと共に環境活動に取り組んでいます。[EA21認証・登録済]

	役割・責任・権限
最高経営責任者 (社長)	・環境方針の決定と環境経営システムの見直し
環境管理責任者	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果を踏まえて、具体的な環境目標及び環境活動計画を査定する。 ・エコアクション21に関する環境経営システム(EMS)の構築・運用を円滑に行う。
EMS委員会 ※	・環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価する。 ・環境配慮型製品の販売・環境情報の提供を担う。
EA21事務局	・事務局として、環境責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般及び、環境リスク管理を所管する
部門長 ※	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

※EMS委員会は、定例(毎月または隔月)部長(EMS委員)会内で同時に開催される。

※各部門は、各部に記載している者を責任者とする。